

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
Serve to Change Lives

2021-22年度 RI会長／シェカール・メータ
RI.D2590ガバナー／小倉 正
横浜旭RC会長／北澤 正浩

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈



横浜市へ医療機器支援



旭ふれあい区民まつり

2022年2月2日 第2450回例会 VOL. 53 No. 12

- 司会 副SAA 市川 慎二
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 出席報告

| | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| 会員数 | 22名 | 本日の出席数 | 18名 |
| 本日の出席率 | 90% | 修正出席率 | 80% |

■オンライン出席者

福村、宋、佐藤真吾、佐藤利明

■本日の欠席者

中谷、(目黒)

■本日のゲスト

伊吾田善行様 (国際協力 NGO Act for Child 代表)

林 悦 (米山奨学生)

■誕生日祝い

佐藤 真吾会員 2.6

■会長報告

皆様、こんにちは。2月に入りましたが、まだ寒い気温が続いています。皆様も気温差にお気を付けて、お過ごしください。

さて、ロータリーの2月は、平和と紛争予防、紛争解決月間となっております。ニュースを見ると連日、ロシアが大規模な部隊をウクライナとの国境周辺へ展開させており、大規模な軍事衝突に突入するリスクを報じています。それ以外でも世界は大小様々な紛争が発生し、増加傾向にあります。大半の紛争は政治的民兵や犯罪集団、国際テロ集団など非国家主体の間で生じ

ています。貧困、地域的緊張状態の未解決、法の支配の崩壊、国家機構の不在または私物化、不正な経済利益や、気候変動によって助長される資源の希少化は、紛争を激化させる重大要素となっているそうです。

日本は戦後長らく平和がもたらされました。紛争という事態を私は経験をしていません。

しかし紛争は他人事ではなく、北朝鮮のミサイル開発や中国の台湾侵攻の懸念等、周辺国の動きを見ていると、日本が紛争に巻き込まれることも十分あり得ることだと不安を感じています。

ロータリーが紛争解決への直接的な関与は難しいですが、ロータリーの活動として行っている貧困、教育機会への支援は将来の紛争を減少させることに繋がる効果的な方法です。平和な日本であるからこそ、今できる平和と紛争予防、紛争解決へのロータリー活動を我々は真剣に取り組む必要があると思います。

■林 悦 (米山奨学生) 近況報告

おはようございます。

前日この学期最後のレポートを提出し、私の大学生生活が終わりました。

この四年間本当にフェリスで大変意味がある時間を過ごしました。初めて司会になって国文学会を行い、初めて学校の宣伝のためインタビューを受け、初めて同級生と着物を着て歌舞伎を見て、初めて一学期のgpaが3.7になった

など貴重な経験があります。

前月院試のため落ち込んで、自分が全力を尽くしましたが、能力が限界があることを認識し、心身とも疲れてしまいました。

その後、卒業論文の発表会に参加し、想像以上先生たちより褒められました。独創性、構造も良くて、内容も丁寧でなどずっと期待している評価は私よりも尊敬している先生たちの口から出てきました。そして、私この一年の目標 --- 優秀論文として論文集に入集することも達成しました。正直、喜んでいる感じはもう何度も論文を直すことの辛さに圧倒しましたが、この時期の私にとって大変癒しな評価です。

フェリスで過ごした時間は私をよりいい人間に育成しました。私の夢に翼をあげるところです。これからもこの翼で努力していきます。

■ニコニコ BOX

北澤 正浩／伊吾田善行様、本日の卓話楽しみにしております。

田川 富男／孫に7段飾のお雛様と思いましたが、断られました。訳がわからない？ので、3人官女の2段にしました。じじばかですかネ。

安藤 公一／伊吾田様本日の卓話よろしくお願ひ致します。

二宮麻理子／伊吾田様本日は卓話よろしくお願ひ致します。

五十嵐 正／伊吾田様本日はお忙しい中、ありがとうございます。卓話楽しみにしております。

新川 尚／伊吾田様本日はよろしくお願ひします。

市川 慎二／伊吾田様本日の卓話よろしくお願ひ致します。

平子 智章／伊吾田様本日の卓話楽しみにしています。宜しくお願ひします。

■卓話「あれから1年ミャンマークーデターはなぜ起こった？」

伊吾田善行様（国際協力 NGO Act for Child 代表）

◆自己紹介

伊吾田善行（いごたよしゆき）横浜市中区本牧出身。

夢：世界の子ども達を笑顔にする！

国際協力 NGO Act for Child 代表、横浜市市民協働推進委員

•1976年：日本人の父、韓国人の母の元に生ま

れ、正義と平等について学ぶ。

•卒業後：「少年兵」という人を殺さないと生きていけない子ども達の存在を知り、雷に打たれたかのような衝撃を受ける。以来、貧困や人身売買など悲惨な状況に置かれている世界の子ども達の存在を知り「人生をかける仕事はこれだ！」と国際協力の道を目指す。

•2001年：アジアの子ども達の教育支援を行っている国際協力 NGO にボランティアとして参画、同年スタッフ。以来ミャンマー担当として少数民族の子ども達の教育支援を実施。約3万人の子ども達に教育の機会を提供してきた。

•2021年：前進団体から事業を継承し「Act for Child」設立。代表就任。

◆ミャンマー概要&略歴

○ミャンマー連邦共和国概要

- 人口：日本の半分
- 面積：日本の2倍
- 首都：ネピドー
- 言語：

公用語ミャンマー語、少数民族言語

- 民族：ビルマ族70%、少数民族135
- 宗教：仏教90%、キリスト教、イスラム教他

•産業：農業、鉱物、製造業、天然ガス等

•社会貢献：世界寄付指数第一位

○ミャンマーの略歴

- 1852年：イギリスの植民地（約100年）
- 1942年：イギリスから独立、日本の統治下（ビルマの豎琴）
- 1944年：インパール作戦失敗日本兵14万人死亡（多くの日本兵を救済）
- 1945年：日本から独立（戦後の日本に大量のお米支援）、イギリス統治



- 1948年：イギリスから独立→ビルマ式社会主義→軍事政権（半世紀以上）
- 1988年：民主化運動（→国軍による大量殺戮）
- 1989年：アウンサンスーチー軟禁
- 2007年：サブラン革命：民主化運動（→国軍による大量殺戮）
- 2008年：ナルギス襲来
- 2011年：実権を握る国軍による民政移管スタート（民主化ではない）
- 2012年：アウンサンスーチー解放
- 2015年：総選挙でアウンサンスーチー率いるNLDが圧勝
- 2020年：総選挙でアウンサンスーチー率いるNLDが再度圧勝
- 2021年：国軍によるクーデター発生（→国軍による大量殺戮）

◆クーデターの現状

- (いつ?) 2021年2月1日に(国会初日)
 (どこで?) 首都ネピドーで
 (誰が?) 国軍が
 (何を?) クーデターを起こした
 (どのように?) アウンサンスーチー他、幹部拘束、全国に戒厳令
- その後
- ミャンマー全土で数十万規模の市民不服従運動 CDM 継続
 - 国民統一政府 NUG + 少数民族武装勢力 + 国民防衛隊 PDM (Z)
 - 死者：1,500名以上（女性・子ども含む）、逮捕：12,000名以上

◆ミャンマークーデター発生の背景

2020年の総選挙によるNLD圧勝が直接のきっかけ・・・

アウンサンスーチーは憲法改正（国軍の弱体化）が悲願だった。しかし、改憲には国会議員の75%以上の議決必要だが、国会議員の25%が軍人のため不可能（国軍の権利：内務省、国防省、国境省）

国軍（軍事独裁）vs NLD（民主主義）の衝突 （国軍の利権保持 vs NLDの利権撲滅）

※半世紀に亘る軍政下で軍閥は全ての富を手に入れていた

◆民主派（国民民主連盟 NLD）の視点

軍事政権を終わらせ、民主国家を樹立する必要がある。

軍事政権とは？

基本的人権は保障されず、表現の自由もなく、軍を批判すれば拘束、拷問、死刑

密告制度、秘密警察
少数民族蹂躞

国家予算の大半は軍事費に

インフラや社会福祉、教育は最低レベル→彼ら曰く「暗黒時代」

◆国軍の視点

国軍の言い分：2020年11月NLD圧勝総選挙で不正あり？

→民主主義を守るためのクーデター???



◀この写真の19歳の女性ですけども、実は国軍に頭を撃たれ殺されてしまいました。このB+は彼女の血液型で、右には私がもし銃弾に倒れたら、検体医療に体を提供しますという遺書まで書かれた、その19歳女の子が戦った民主化デモってというのはどういふものなのでしょう。

第二次世界大戦から戦い続けている国軍もともとは、独立の英雄（ビルマ独立義勇軍、30人の志士、日本軍と共にイギリスから独立）

国軍でないと少数民族統治できない、国家が成り立たない、国の守護者という自負

世界で唯一70年以上国内紛争→存在理由を正当化
国軍＝脅迫、強制、洗脳

タイの軍事クーデターを想定していたが兵士8,000人以上が逃亡

◆国際社会の動向

中国・ロシア：国軍を支持、国軍との強固な関係、ねらいは資源と海

EU & アメリカ：経済制裁強化、人権擁護、ねらいは民主国家の樹立

日本：独自のルートからアプローチしているらしい…

ASEAN：原則内政不干渉→異例の懸念表明

国連：常任理事国の中国とロシアが足を引っ張り強硬策示せず

◆ミャンマークーデター：今後

国軍は2022年8月に総選挙実施予定？

国際社会が機能していない中、

私の見解では、少なくともあと2、3年はこの状態が続く持久戦の可能性大

最終的に勝つのは？

国民（民主主義の勝利）

暗黒時代には戻りたくない

Z世代が希望

◆ミャンマー東北部シャン州

クーデターの状況

ヤンゴン、マンダレー、ザガインほどではないが、2021年は主にZ世代によるデモ頻発、拘束者も出た。

全国的なCDMにも呼応

病院、銀行、学校はほぼ閉鎖、経済停滞。

夜間外出禁止令施行中。

ポイント：

（ミャンマー人居住地との大きな違い）

少数民族の自治区では、

歴史からの教訓として、自分たちの民族を守るため、心はもちろん民主主義だが、国軍や民主派とは一定の距離を保っている。

軍事政権下を生き抜く知恵。

◆パオ民族について

人口：50万人居住区：シャン州南東部

・自治政府：PNO (Pa-O NATIONAL ORGANIZATION)

・指導者：ウーアムカムティー（元僧侶）

・宗教：仏教（ほぼ100%）一生に一度は出家する

・生活：農業（にんにく、豆、とうもろこし、煙草の葉）

・平均年収：5万円

・日課：瞑想

・主食：米

・特徴：まじめで勤勉、明るく温和、助け合いの精神を持っている

◆ミャンマーの現状と課題

【国家】

・国軍によるクーデター中（民主化勢力＋国民＋少数民族 vs 国軍）

・人材不足（永年の軍政により大学封鎖、政治犯の収容、国外流出、など）

・少数民族との内戦（カレン族、カチン族、ラカイン族、ロヒンギャ族など）

・インフラの未整備（水道、電気、道路、病院、学校など。国費は軍事費へ）

【教育面】

・校舎：村人が建てた竹製の校舎で老朽化が激しく雨期には半年間、授業が不可能

・教師：村が雇った中卒の子どもが教師、教育レベルが低い

・教育：小学校は教師が2名の複式学級

・教材：貧困のため新しい教材が買えない

◆ Act for Child の国際協力

貧困の連鎖から抜け出すための教育支援

「ミャンマー少数民族の子ども達への地域住民主体の教育支援」

期間：2001年より20年間に亘って活動

内容：地域コミュニティを主体とした教育施設建設並びに運営サポート

主体：パオ族の村人を組織化

協力：少数民族パオ族自治政府

AFC 現地調整員

成果：20年間で30村34事業実施

約3万人の子ども達に教育の機会提供

■次週の卓話

2 / 16 宋会員